

平成19年度「専修学校・高等学校連携等職業教育推進プラン」成果報告書

事業名	環境学習実験会 ―環境の仕事を体験してみよう―		
法人名	学校法人重里学園		
学校名 ((2) のみ)	国際環境専門学校		
代表者	理事長 重里 國麿	担当者 連絡先	岡田 博明 TEL 06-6412-8461
<p>1. 事業の概要</p> <p>環境調査や環境浄化といった環境ビジネスに直結する実験を高校生に体験させ、企業などで実際に行なわれている環境の仕事の基礎を理解させた。実験は、高校の化学や生物の授業で学習する内容とし、身近なものを題材として、高校生が環境の仕事に興味を持つよう工夫した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>環境関連の実験を通して、基礎的ではあるが、環境の仕事の実務作業を、受講者（高校生）に理解させることができた。具体的な作業（実験操作）により、受講前は漠然としていた環境ビジネスへのイメージが、現実的な仕事として実感できるようになったと考えられる。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>水中の合成洗剤濃度を日本工業規格に従い測定し、さらに、酸化チタンの光触媒効果で合成洗剤を分解する実験を通して、水質分析、水処理などの仕事への理解を深めた。 排ガスに含まれる窒素酸化物濃度を日本工業規格に準じた方法で測定する実験を通して、大気分析や大気汚染対策などの仕事への理解を深めた。 家庭用の塩素系殺菌剤の効果を観察し、さらに、活性炭などで水道水中の残留塩素を除去する実験を通して、薬品製造や水道管理、さらに、家庭用品製造などの仕事への理解を深めた。</p> <p>③今後の活用</p> <p>今回の実験の内容は、インターネットを通して広く公開し、それを閲覧した人も環境の仕事への理解が深められるようにする。 次年度以降も、実験を中心とする体験を通じて、環境の仕事を具体的に理解させる催しを行なう。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>今年度は、実験内容と環境ビジネスとの繋がりを講義形式（ガイダンス）で行なったが、次年度以降については、作業（実験操作）を通して環境ビジネスとの繋がりを体感できるようなものを検討したい。 また、生物系の実験も充実させる予定である。</p>			

3. 事業の実施に関する項目

①職業体験講座、講演会の実施

行事名称：環境学習実験会 ―環境の仕事を経験してみよう

開催日時：平成19年8月4日（土）13：00～16：30

開催場所：国際環境専門学校（兵庫県尼崎市道意町7-1-12）

実施概要：ガイダンスと共に以下の3つの実験を行なった。

- ①水中の合成洗剤濃度を測定し、さらに、光触媒効果で合成洗剤を分解する。
- ②排ガス等に含まれる窒素酸化物濃度を測定する。
- ③塩素系殺菌剤の効果を観察し、さらに、活性炭等で水道水の残留塩素を除去する。

受講者：受講者 計9名

高校生8名

兵庫県立西宮今津高等学校2年生 = 4名

兵庫県立伊丹西高等学校1年生 = 4名

引率教諭1名

兵庫県立西宮今津高等学校

感想など：受講者のアンケート結果は以下の通り。

a) 実験の題材について

- ・非常に良かった 5名
- ・良かった 2名
- ・普通 1名
- ・悪かった 0名
- ・非常に悪かった 0名

b) 実験の数について

- ・非常に良かった 3名
- ・良かった 4名
- ・普通 1名
- ・悪かった 0名
- ・非常に悪かった 0名

c) 受講しての感想（記述式）

- ・とても楽しかったです。思ったより分かりやすく簡単で、親切に教えて下さったので…。参加して良かったです。本当にありがとうございました。機会があればまた足を運びたいです。
- ・とても楽しかったです。また機会があれば参加したいと思います。
- ・色々な実験をやらせていただいて楽しかったです。
- ・楽しく実験をさせてもらいどうもでした。
- ・一日楽しかったです。先生とも楽しく話が出来て。
- ・たのしかったです。
- ・先生が常にハイテンションだった。
- ・色素分解の実験の時は説明が堅苦しかったけれど、後半は先生方が面白く楽しかったです。

②その他

実験は、高校生でも理解できる内容とし、かつ、環境関連企業で実際に行なわれているものとした。

また、実験前には環境ビジネスの全般的な紹介を行ない、実験後には今回の実験が具体的にどのような環境の仕事に結びつくかのガイダンスを行なった。

さらに、受講者の環境ビジネスへの理解をより深めるために、住友チタニウム株式会社の協力を得て、環境浄化に用いられている酸化チタン製品を受講者に紹介した。